
四日市市の 地球温暖化対策について

四日市市長 森 智広

世界の潮流 ～脱炭素化社会を目指す動き～

2015年12月 パリ協定が採択（COP21）

- すべての国が参加する公平な合意
- 2℃目標
- 今世紀後半に温室効果ガスの排出量と吸収量の均衡を達成

パリ協定は炭素社会との決別宣言



2019.9 気候行動サミット（ニューヨーク）

- 脱炭素化に向けた**転換点**
- 今世紀後半の脱炭素社会に向けて世界は既に走り出している

2018年10月8日
IPCC1.5℃特別報告書公表

温室効果ガス削減に向けた直近の国内の動き

■ 2020年10月

菅総理が「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言

■ 2021年4月

「2030年度に2013年度比46%減、
さらに、50%の高みに向けて挑戦」が表明

※これまでは2013年度比26%減とされてきた

■ 2021年6月

改正地球温暖化対策推進法公布。

「2050年までの脱炭素社会の実現」法定化

■ 2021年6月

地域脱炭素ロードマップを策定、地域の脱炭素化に向けて今後5年間に対策を集中実施

■ 2021年10月

政府が地球温暖化対策計画を策定、

2050年カーボンニュートラル、新たな2030年度目標とその実現に向けた施策等を位置づけ



地球温暖化対策推進本部で発言する菅総理（当時）

これまでの四日市市の動き ～四日市市環境計画～



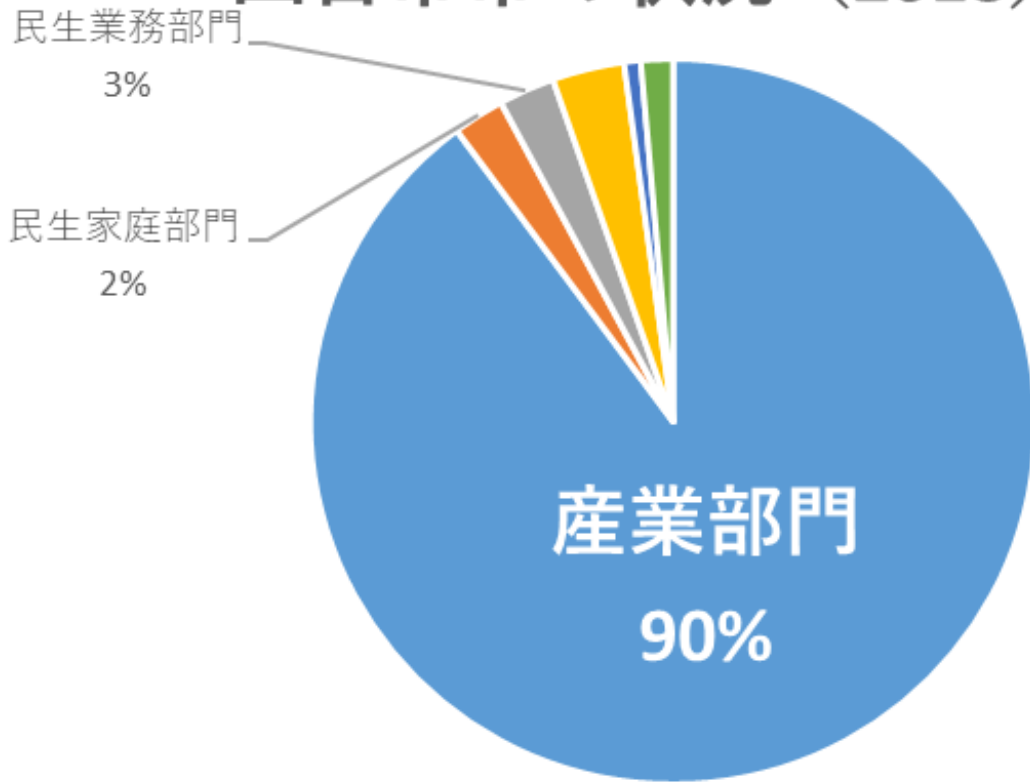
「四日市市環境計画」は、
「四日市市環境基本条例」の基本理念に則り、
「快適環境都市宣言」の理念を継承することはもとより、

特に「四日市市総合計画」における
構想や計画を環境面から実現するための
環境政策のマスタートプランです。

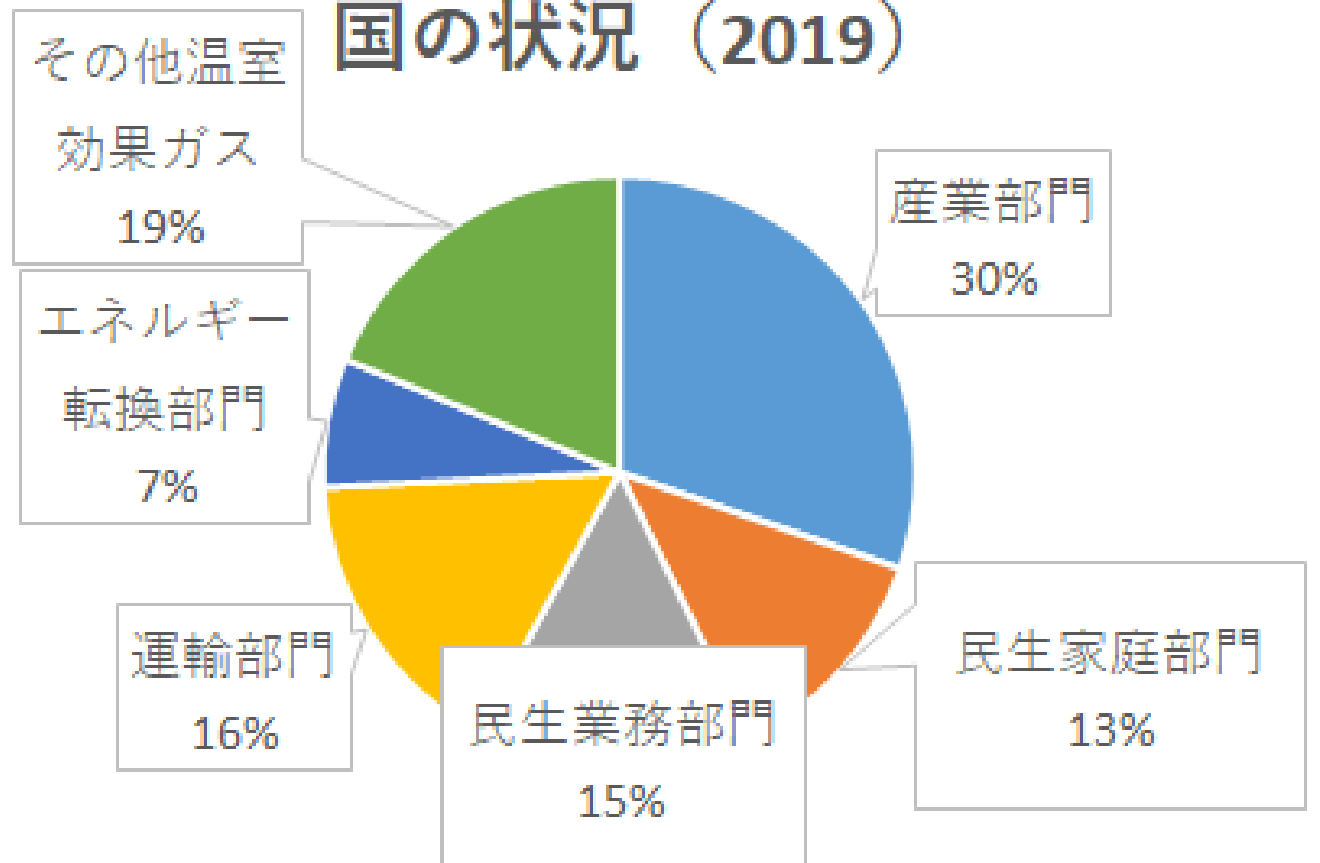
この中には、
地球温暖化対策実行計画も包含されています。

本市における温室効果ガス排出量の内訳

四日市市の状況（2018）



国の状況（2019）



- ・ 四日市市のCO₂排出量の割合は産業部門が90%を占める。

新しい温室効果ガス排出量削減目標

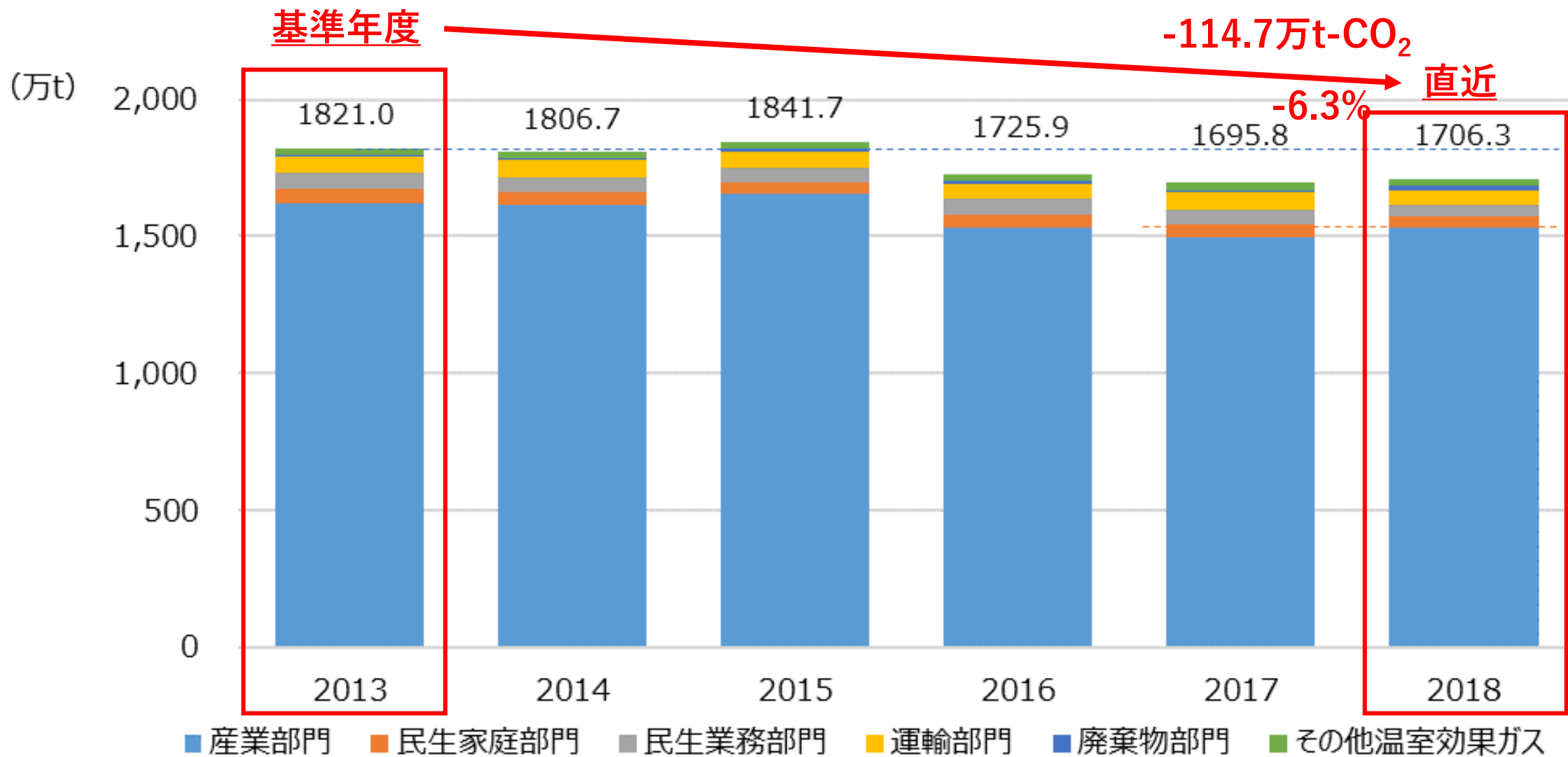
国			四日市市		
目標年度 2030			目標年度 2030		
基準年度2013に対する			基準年度2013に対する		
	“旧”削減率 (%)	“新”削減率 (%)		“現行”削減率 (%)	“新”削減率 (%)
産業部門	▲7	▲38	産業部門	▲14	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>新目標設定 のために 見直し作業中</p> </div>
民生部門	▲40	▲58	民生部門	▲36	
運輸部門	▲27	▲35	運輸部門	▲18	
エネルギー転換部門	▲27	▲47	廃棄物部門	▲7	
その他温室効果ガス	▲21	▲21	その他温室効果ガス	▲16	

・ 現行の本市の産業部門の削減目標は、国の2倍となる▲14%



- ・ 国は、昨年の見直しで削減率を大幅に上方修正 (▲26 ⇒ ▲46%)
- ・ 四日市市も、新たな削減目標を設定するために、見直し作業を進めている

四日市市域の温室効果ガス排出量の推移



現行の地球温暖化対策にかかる施策方針

(1) 徹底した
省エネルギーの推進

(2) 再生可能
エネルギーの導入拡大

(3) 低炭素型
まちづくりの推進

(4) 温室効果ガス
の吸収源確保

現行施策

市民：スマートシティ構築促進補助金（太陽光発電設備等）

事業者：四日市市企業立地奨励金（新燃料への転換等）

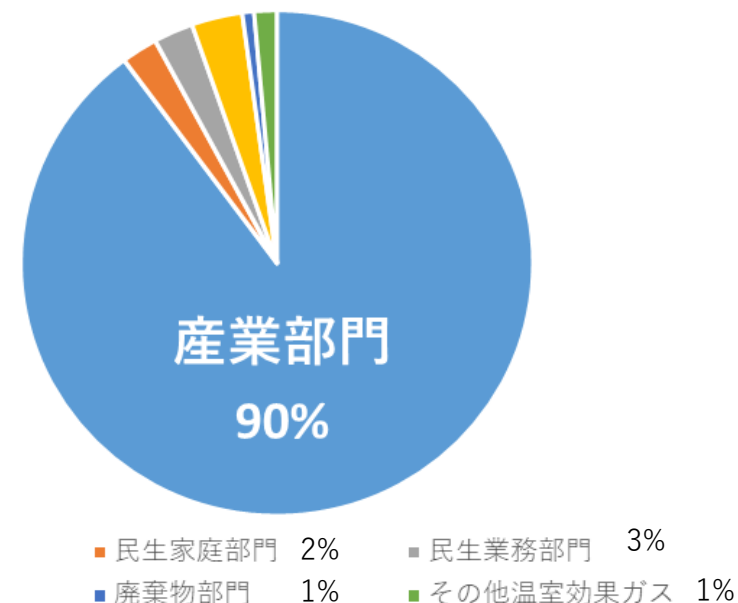
市役所：公用車のEV導入、公共施設への太陽光発電設備導入 など

★今年度行う計画改定の中で、
世界の潮流に合わせた「施策のブラッシュアップ」を行う

本市における温室効果ガス排出量の目標設定の考え方

- 四日市市の脱炭素化は、
産業部門が「カギを握る」
- 産業部門においては、これまでも
国の目標を上回る目標を設定してきた
- 2050年カーボンニュートラルの
達成に向け前向きな目標設定をしていく

四日市市の状況（2018）



四日市市環境計画等の見直しに向けて

★市長自ら、市民や事業者の声を把握

- ・ 「四日市コンビナートのカーボンニュートラル化に向けた検討委員会」での意見交換
- ・ 市内全24地区において意見聴取の機会を設定（8～12月）

★アンケート調査の実施

- ・ 市民2,000人にアンケート調査
- ・ 商工会議所と連携し、市内事業者300社へアンケート調査
- ・ 公害防止協定締結事業所45社へアンケート調査 など



★目標達成のために必要な支援を講じていく

カーボンニュートラル
社会の実現に向け、
一緒に取り組みましょう
